



パチンコ夏！「最大の問題点」は、 【ミリオンゴッド】次第か？ ～マックスコーナーからの離脱顧客層～

● 【6万台設置】…と言う「市場規模」

● 【技術介入度無し】…と言う「単純さ」

● 【天井ART発動】…と言う「安心感」

● 「パチンコ離脱⇒スロット＝ミリゴ」への顧客移動は！？

● そして、その対策案は！？

スロット「ミリゴ」 VS パチンコ「マックス機」

■「台売」は匹敵する！？

【コイン単価＝3.8円】×【台IN枚数＝17,000枚】＝【**台売＝64,600円**】

【玉単価＝1.7円】×【台アウト＝38,000個】＝【**台売＝64,600円**】

■「台粗」は匹敵する！？

スロット台IN枚数＝17,000枚…出玉率＝98.5%⇒差枚数＝＋255枚【**台粗5,100円**】

パチンコ台アウト＝35,000個…玉粗＝0.20円⇒【**台粗7,000円**】

■「稼動」は匹敵する！？

スロット「1時間あたりのIN枚数」は…概ね【 枚】が基準値。

パチンコ「1時間あたりのアウト数」は…概ね【 個】が基準値。

■「P⇒S」への顧客移動はある！？

最も心配している事が、「技術介入無し」と「天井ARTの有無」になる。

●「技術介入度が高い」機種である場合、P⇒Sへの移動に対してはマイナス要因で安心。

●「天井ARTの有無」は、パチンコには全く無い仕様部類であり、顧客側の意識として、

『**どうせハマるなら…**』の意識が誘発される可能性は、否定出来ないと考えられる。

「9月リリース」からの新機種導入が重要に

○パチンコでの対応策は？

■「ビッグコンテンツ」での逆襲！？

「9月」になれば、またまた新機種のリリースが始まる事は、いつもの事。だが…
「北斗シリーズ」・「慶次シリーズ」・「牙狼シリーズ」のリリースが目されている。
共に、マックス系機種の中の、ビッグコンテンツである。(北斗は甘・ライト仕様)
ココに加え、「三洋～聖闘士星矢」がリリースされる。

基本的戦略として、『あれが…これが…』では無く、『全部導入!』である。
無論、「購入ロットを小さくする」事で、購入総額への対応は必要となるが…

■「他の機種」での対応は！？

秋～年末リリース想定＝【プレミアム海物語】だが、結論的には、『導入必須である』
併せ、年末リリース想定される【必殺仕事人4】は、『有るに越した事は無い』
間違っても、『盆アケ』の【1パチ稼働の低下】は招かないよう、要注意である。

ただし、全ては、『ミリゴが良かったら』の話ですから…ね。